

ホームページをリニューアルしました
↓QRコードからもアクセスできます



ネットで秋厚労ニュース
<http://www.shukouro.net/>

パスワードは秋厚労本部へ
お問い合わせください

メール info@shukouro.net

秋厚労ニュース

NO1990号

2022年11月9日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

ハラスメント 背景に過密労働等

**県医労連
労働安全衛生学習会**

10月23日(日)、横手市の金沢孔城館(金沢公民館)にて、秋田県医労連の労働安全衛生学習会「ハラスメントについて考えよう」が開催され、秋厚労2人を含む28人が参加しました。



起きた背景を分析し、是正を求めることが大事

午前は学習講演。日本医労連中央副執行委員長の吉田岳彦さんが「ハラスメントを生み出さない職場づくり」と題し、ハラスメント相談に対応する労働組合役員に向けて、講演しました。

経営側に指導・管理責任

日本医労連看護労働実態調査(2017年)で、パワハラが「ある」と答えたのは回答者の約3割。「誰から受

けたか」との問いに、多かった回答は「上司(57.9%)」「医師(41.2%)」「同僚(18.4%)」。セクハラ・マタハラも約1割が「ある」と回答しました。

吉田さんは「例えば新入職員に時間外請求をさせない等、ハラスメントの起る職場では、正常な労務管理ができていないことが多い」と指摘。前述の調査で、休憩が「きちんと取れている」との回答は3割弱にとどまり、「医療・看護事故の原因」について「慢性的な人手不足による医療現場の忙しさ」と答えた人は8割を超えます。

ハラスメントを許さない姿勢を貫く

吉田さんは「事業所ごとに設置される『衛生委員会』は、労働環境の整備など、労使交渉で実現が難しい部分への理解を深める機会にもなる。職場の実態や組合員の状況・要求を把握し、活用してほしい」と呼びかけました。

労働組合だから出来るハラスメント予防として、

「ハラスメントが起る背景には、個人の要因もあるが、要員不足による過密労働や、年収ダウンなど将来不安も根底にある。実感として、基本給引上げがなくなった頃からハラスメントが増えた」とし、「指導・管理の責任は経営側にある。個人攻撃だけに終始すると、退職やメンタル不調につながる。背景となった問題が温存される。労働条件改善を目指す労働組合としては、なるべく個人攻撃にせず、ハラスメントが起こった背景を分析し経営側

に是正を求めることが大事」と強調しました。

「①権利侵害された人に徹底して寄り添い、誰に対してもハラスメントを許さない姿勢を貫く、②個人情報に留意し、本人の了解を得た上で、全職員に事象・対応を知らせる、③労働組合は抑止力であり護つてくれる場所だと知らせる、④原因となる労働条件の改善」を挙げます。

秋厚労定期大会 書面議決に変更

10月29日(土)に予定されていた秋厚労第75回定期大会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、書面議決・書面大会に変更しました。詳しい日程は、後ほどお知らせします。

最後に、「決定的な対策はない。だからこそ、労働組合の活発な日常活動で抑止力を強化しよう」と訴えました。

午後は座談会で交流

午後の座談会では、「ハラスメントの相談を受け、実態調査を行った」「これから役職がつくような年代向けに研修会を開いてほしい」「ある職場の残業が多すぎて、衛生委員会でも話が出るが、なかなか改善しない」など、現状を交流しました。